

【平成 18 年度国民医療費の概況】

2006 年度（平成 18 年度）国民医療費の概況が厚生労働省から発表されました。

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-iryohi/06/index.html>

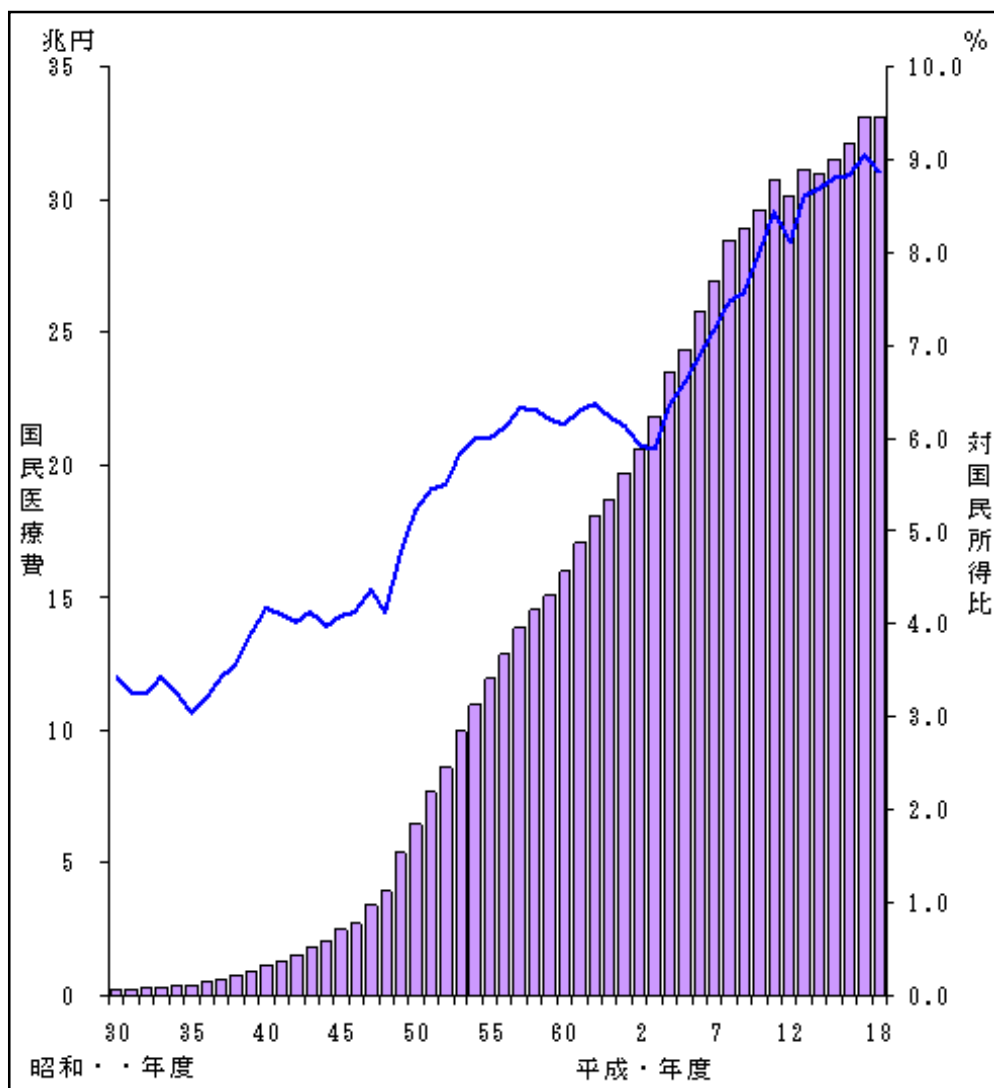
グラフを交えながら、国民医療費、歯科診療費について見ていきます。

国民医療費は 33 兆 1276 億円で、前年度に比べ 13 億円、0.0%の減少となっています。

伸び率の内訳は、診療報酬改定がマイナス 3.16%であったのに対し、人口増加分が 0.0%増、人口の高齢化分が 1.3%増、その他（自然増）が 1.8%増です。

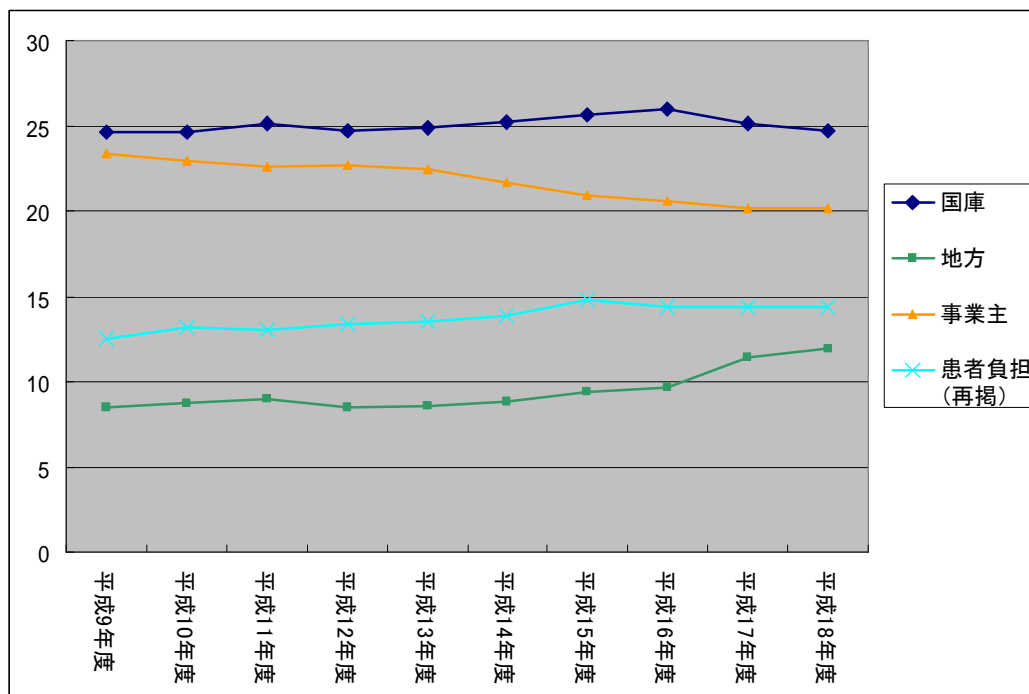
増加分を診療報酬のマイナス改定で補った形となっています。

国民所得は前年度比 1.8%の増加となったため、国民医療費の国民所得に対する割合（NI 比）は 8.88%で、前年度（前年度 9.04%）に比べ 0.16 ポイント減少しています。



診療種別国民医療費をみると、一般診療医療費が0.3%増加、歯科診療医療費が2.8%減少、薬局調剤医療費は3.2%増加、訪問看護療養費は11.2%増加となっています。

財源別国民医療費構成割合の年次推移では、事業主負担が減少傾向に、地方負担が増加傾向にあります。



発表された資料の中から歯科に関する部分を載せてみます。

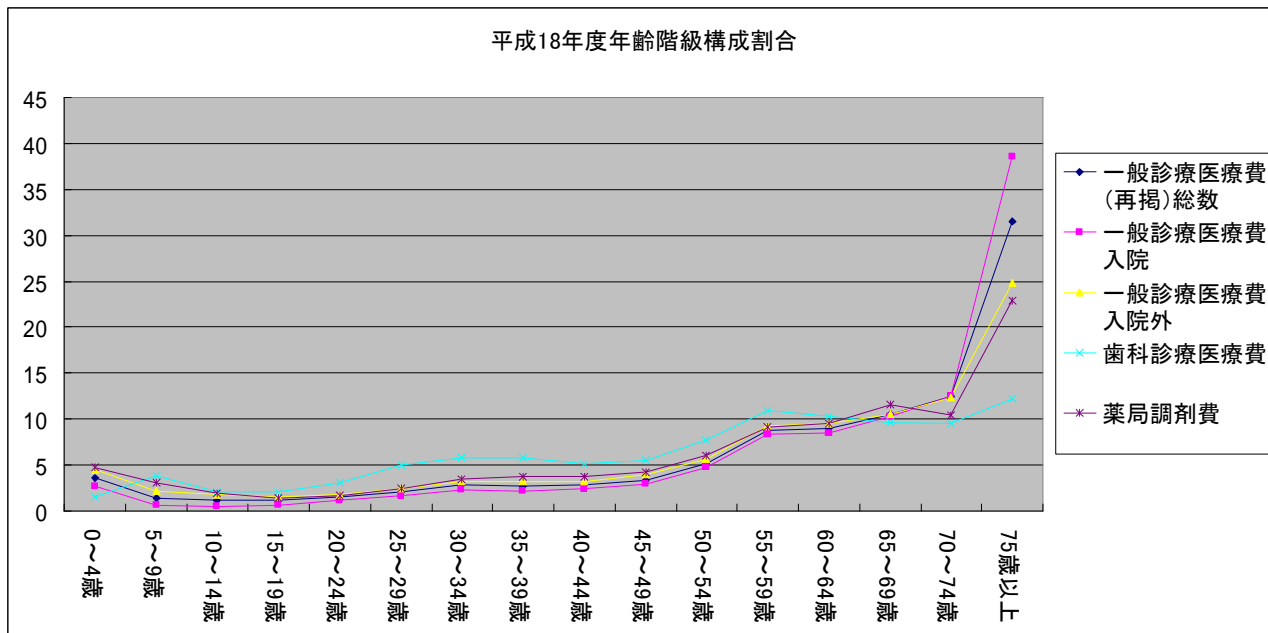
歯科診療医療費の推移です。

| 歯科診療医療費 | 推計額(億円) | 前年差額(億円) |
|---------|---------|----------|
| 平成14年度 | 25,875 | |
| 平成15年度 | 25,375 | -500 |
| 平成16年度 | 25,377 | 2 |
| 平成17年度 | 25,766 | 389 |
| 平成18年度 | 25,039 | -727 |

歯科診療医療費の国民医療費に占める割合です。

| 歯科診療医療費 | 構成割合(%) |
|---------|---------|
| 平成14年度 | 8.4 |
| 平成15年度 | 8.0 |
| 平成16年度 | 7.9 |
| 平成17年度 | 7.8 |
| 平成18年度 | 7.6 |

年齢階級別の一般診療、歯科診療別国民医療費の構成割合です。



歯科は他の、一般診療費や薬局調剤費と比べて、75歳以上の後期高齢者にかかる医療費の構成割合が少ないことが良くわかります。

詳しくは厚生労働省のサイトをご覧ください。

2008/08/28

みんなの歯科ネットワーク

チュー